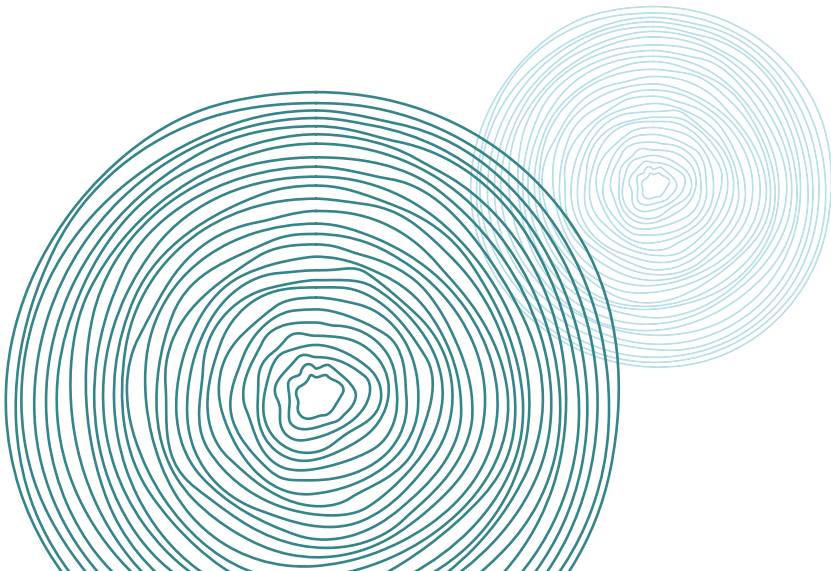


精神疾患における支援および保護措置に関する法律 (PsychKG NRW) についての患者用リーフレット

こんにちは (名/姓) : _____,

私たちは、あなたが早く元気になるのをお手伝いしたいと思っています。

このリーフレットでは、あなたの最も重要な権利と義務について情報を提供しております。法文の全文は、病棟でご覧いただけます。



収容の理由

ツールチップ (わかりやすく)

あなたは病気にかかっていて、あなたの行動によってあなたや他の人に深刻な危険があるため、病院に搬送されました。

これを可能にする法律は、精神疾患における支援および保護措置に関する法律と呼ばれています。略称は、「ノルトラインヴェストファーレン州精神疾患保健法 (PsychKG NRW)」です。

裁判所の判断 (PsychKG NRW 第14条)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたが入院を継続する必要があるかどうかは、裁判官が決定します。

裁判官が来ない場合、あなたは退院です。主治医が新たにPsychKGに基づく手続きを開始する場合を除きます。

あなたの病気について話し合いをするために、裁判官が今日か明日に来ます。あなたは、裁判官に何でも話をすることができます。あなたは、弁護士を依頼する権利をもっています

裁判官の決定に対して、あなたは2週間以内に裁判所へ書面で異議を申し立てることができます。異議を申し立てる場合は、病棟のスタッフがあなたをサポートいたします。

文書 – 閲覧権 (PsychKG NRW 第16条)

ツールチップ (わかりやすく)

スタッフは、治療中に起きたことを書き留めます。

あなたが快復すれば、強制措置について、あなたともう一度ご相談いたします。

あなたは、スタッフがあなたについて書き留めたものをすべて読むことができます。

これは、閲覧権と呼ばれています。

屋外での滞在 (PsychKG NRW 第16条第1項)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたは、毎日、少なくとも1時間、庭またはテラスなど屋外に出ることが許されています

入院時の医師による診察 (PsychKG NRW 第17条)

ツールチップ (わかりやすく)

医師は、可能な限り早くあなたを診察いたします。

医師は、あなたがまだあなた自身や他人に対して危険であるかどうかを確認いたします。

信頼できる人への通知 (PsychKG NRW 第17条)

ツールチップ (わかりやすく)

ご希望の場合は、信頼できる人(友人、家族、介護者)に、あなたが入院していることお伝えします。

ご希望の場合は、弁護士にご連絡します。

あなたに法定後見人がいる場合は、自動的に通知されます

これらの人は、裁判官との話合いに参加することができます。

治療 (PsychKG NRW 第18条)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたの病気は、私たちと一緒に治療することができます。あなたが同意した場合にのみ、治療を受けることとなります。これを、コンセント、つまり同意といいます。このことは、医薬品に関しても適用されます。これらの規則には例外があります。

治療については、あなたと詳細に相談する必要があります。

例外1:

医師は、あなたの病気を原因とする大きな危険がある場合、あなたの意志に反して治療を行うことが許されています。

大きな危険があるとは、あなたの病

気に関連した行動のために、あなたもしくは他の人に、生命の危険または非常に重大な健康被害が及ぶ場合をいいます。

強制治療は、原則として裁判官が許可した後でなければ行うことができません。

例外2:

ごく稀に、医師が裁判官に尋ねることなしに強制治療を行う場合もあります。これは、裁判官が来るまで待てない、待っていたら何か悪いことが起こるかもしれないと医師が思っている場合です。

これらの2つの例外は、強制治療と呼ばれています。

特別な安全対策 (PsychKG NRW 第20条)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたが自分自身や他人にとって特に危険である場合、医師は次に掲げる措置をとるよう指示することが許されています：

- 1.) あなたは、外に出ることが許されません
または
- 2.) あなたは、一人で部屋に連れて行かれ、ドアに鍵がかけられます
または
- 3.) スタッフは、あなたを拘束することが許されます、
または

4.) スタッフは、あなたをベッドに縛り付けることが許されます。

これらの措置は、他に何の手段がない場合にのみ許可されます。これらの措置は、危険がなくなり次第、直ちに止めなければなりません。

あなたが30分以上拘束される場合、裁判官の許可が必要です。

快復したら、あなたは、裁判官に対して、あなたが適切に拘束されていたかどうかを検証するように依頼することができます。

収容の終了 (PsychKG NRW 第15条および第17条)

ツールチップ (わかりやすく)

収容がまだ必要かどうかは、毎日、チェックされます。

快復したら、あなたは：

- 休みをとる、または
- 退院する、または
- 任意でさらに治療を受けることが可能です。

身の回り品、訪問、電気通信およびメディア、喫煙 (PsychKG NRW 第22条)

ツールチップ (わかりやすく)

危険物は、看護師に渡さなければなりません。その荷物は、退院時に返却を受けます。

あなたの携帯電話およびノートパソコンは、使用が許されています。あなたは、手紙を出すことが許されています。同じように、あなたは手紙を受け取ることが許されています。希望する場合、訪問も可能です。

病棟の他の方へのご配慮をお願いいたします。

喫煙は、喫煙エリアでのみ許されています。この場所は、マークを付けて明示されています。

LVRクリニック内において、無断で他の人の写真を撮ったり、録音したりすることは禁止されています。

治療費

ツールチップ (わかりやすく)

あなたが健康保険に加入していない場合は、お知らせください。ラインラント地域連合 (LVR) クリニックの

ソーシャルサービスが、これについてお手伝いします。

治療同意書、医療事前指示書 (リビングウィル) (PsychKG NRW 第2条)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたは、いつかまた当クリニックで治療を受けることがあるかもしれません。

その際に私たちは、あなたをどのように治療するのがベストなのかを知るために、あなたは医師と書面で合意することができます。これは、治療合意書といわれています。

事前医療指示書 (リビングウィル) にも、私たちは注意を払います。

この合意は、これ以降、すべての関係者に適用されます。

異議申立て (PsychKG NRW 第24条)

ツールチップ (わかりやすく)

あなたに不満がある場合、異議を申し立てることができます。

さまざまな選択肢があります。概要は、病棟に掲示しています。または、スタッフにお問い合わせください。

異議申立てには、他の選択肢もあります (アドレスは、別紙をご覧ください) :

一日も早い快復をお祈りいたします!
草々 LVR-Klinik

別紙:

異議申立ての選択肢

あなたには、例えば、治療またはその他のことに関して、常に異議を申し立てる選択肢があります。

1 病棟の現場スタッフ:

看護サービススタッフ、病棟または診療科の管理者、さらにご希望があれば医師にもご相談ください

または:

2 クリニックの現場にいる独立の患者支援者、いわゆるオンブズパーソン:

患者をサポートするために、LVRクリニックには独立したオンブズパーソンが任命されており、このオンブズパーソンは、あなたのために時間をとり、現場であなたの要望について相談します。オンブズパーソンのサービス時間と電話番号は、現場の病棟の掲示板でご覧いただけます。

または:

3 また、現場ではLVRクリニックの医事責任者に連絡を取り、ご予約の上でご相談いただけます:

病棟スタッフが、ご予約のお手伝いをさせていただきます。

LVRクリニック医事責任者の連絡先データ:

または:

4 LVRクリニック以外でも、異議申立ては可能です。

ラインラント地域連合中央異議申立管理局。

Landschaftsverband Rheinland/ ZBM

50663 Köln

電話: 0221/ 809 2255、電子メール: beschwerden@lvr.de

または：

5 最後に、例えば、次に掲げる各地域のメンタルヘルス不調者のための独立カウンセリングセンターに問い合わせることもできます：

ケルン地区

ケルン異議申立評議会 心理社会ワーキンググループ (PSAG)

Rat und Tat登記社団気付、Kempener Str. 135

50733 Köln, 電話：0163/ 383 1686、電子メール：beschwerderat@web.de

デュッセルドルフ地区

デュッセルドルフ独立異議申立センター 心理社会ワーキンググループ (PSAK)

Kölner Str. 180, 40227 Düsseldorf

電話：0211/ 899 2622留守番電話、

電子メール：psag_beschwerdestelle@duesseldorf.de

デュイスブルク – エッセン地区

デュイスブルク独立異議申立センター 心理社会ワーキンググループ (PSAG)

保健所気付 Marcel Hellmich氏、Ruhrorter Straße 195, 47119 Duisburg

電話：0203/ 283 2709、電子メール：beschwerdestelledu@gmx.de

クレーフェルト地区

クレーフェルト心理社会異議申立センター

Westwall 134, 47798 Krefeld

電話：02151/ 389 261 留守番電話、

電子メール：beschwerdestelle@psag-krefeld.de

フィーアゼン地区

フィーアゼン郡地方自治体精神科連合異議申立センター

連絡先：BIS 登記社団、Klosterstr 5, 41379 Brüggen

電話：02163/ 5622、電子メール：info@bis-brueggen.de

または：

6 あなたの要望が十分に衡量されていないと思われる場合、あなたには、(PsychKG NRW) 第30条に従って、監督官庁である行政区に異議を申し立てる選択肢があります：

- ケルン行政区、病院監督局、郵便番号 私書箱、50606 Köln
- デュッセルドルフ行政区、病院監督局、私書箱 300865
40408 Düsseldorf

奥付：

第2版、2022年10月
コンテンツ責任者：
81.30 (法務担当)と関連するラインラント地域
連合第8/ 84.20部窓口担当者：Uwe Blücher
84.20.

協力者：

試行を重ねて編集に協力くださった方：LVRクリニック快復サポーター、親族代表、精神科医および心理療法士、看護部長、広報担当者、SEIBプロジェクトマネジメント、統合担当、ZBM、LVRクリニック看護部長ならびに医事責任者は、このリーフレットの实用化について本質に関わる大きな貢献をしました。

テキスト表現：やさしい言語規則(やさしい言語ネットワーク協会 (Verein Netzwerk Leichte Sprache) 登記社団) およびラインラント地域連合 (LVR) 第1部回覧通達第2号に基づくわかりやすい(市民感覚に近い) 言語での表現。

言語バージョン：

このPsychKGリーフレットは、32言語の翻訳文が利用可能です。

著作権表示付きリーフレットの外部配布が可能です：

© LVR-Klinikverbund und Verbund
Heilpädagogischer Hilfen